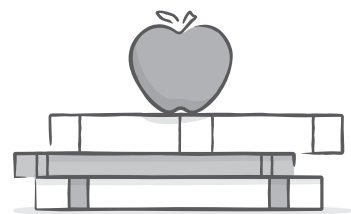


Dropbox Education が学校でのスムーズな共同作業を実現します



課題の回収や研究のとりまとめ、グループ作業は、各自のファイルの保存先や保存方法が異なると難しいものです。Dropbox Education を使って、学内のあらゆるプロジェクトで共同作業を実現しましょう。Dropbox なら、アカウントを持っていない相手とも共同作業が可能です。教員、スタッフ、学生が互いに、効率的かつ安全に共同作業を行えるようになります。

✓ 教員：課題の回収をシンプルに

Dropbox Education を使えば、教員が学生から期末論文を回収する際に、大量の添付メールを整理したり、複雑なツールを使ったりする手間が省けます。学生にファイル リクエストを送信し、ファイルをアップロードしてもらうだけで済むのです。大容量ファイルでもやり取りでき、学生を Dropbox に登録させる必要もありません。アップロードされた課題はすべて、教員の Dropbox 内の指定フォルダに保存されます。リクエストに期限を設定したり、期限を過ぎて提出されたファイルを別のフォルダに保存したりすることも可能です。

共有フォルダを使えば、個々の学生への論文指導もできます。学生が論文に追記して共有フォルダに保存すると、教員はその都度、最新版を閲覧できるようになります。論文に新しい内容が追加されると、教員に通知が届きます。プレビュー画面から直接、必要な箇所にコメントを付けることも可能です。

✓ スタッフ：すべてのファイルをまとめて管理

Dropbox によって、管理者やスタッフは情報を整理し、安全に保管できるようになります。たとえば、人事部門が教職員に記入してもらいたい書類がある場合は、Dropbox でファイルを送信し、ファイル リクエストを使って記入済みの書類を回収することが可能です。回収した書類は、担当者の Dropbox フォルダに整理された状態で保存されます。スタッフは、ドキュメントへのアクセスにログインを必須にしたり、ファイルを読み取り専用に制限したり、リンクの有効期限を設定したりすることで、ファイルを安全に共有できます。

✓ 学生：グループでの共同作業

あらゆるグループ プロジェクトでの共同作業を、共有フォルダを使ってスムーズに行えるようになります。共有フォルダのメンバーは誰でもファイルの追加や編集ができ、その内容はグループ全体に瞬時に同期されます。また、Microsoft Office のファイルであれば、作業中のファイルを閲覧、編集している他のメンバーを確認でき、最新版として保存されたファイルに上書きすることが可能です。

ファイル リクエスト機能を使うと、研究プロジェクトのリーダーが他の執筆者の原稿をとりまとめるのも簡単です。データは 1 つの Dropbox フォルダにまとめて保存でき、さらに完成した論文を共有リンクで送信することもできます。容量が大きくても問題ありません。

✓ 全員：アイデアをより大きく、より明確に

Dropbox Paper はただのドキュメントではありません。アイデアを出しあいながら共同作業をするための柔軟なワークスペースです。誰もが、共有ドキュメントの作成、見直し、修正、管理、整理のすべてを行います。

